

鑑定

芥川龍之介

青空文庫

三田で果亭くわていの山水さんすゐを買つて来て、書齋とこの床に掛けて置いた
 ら、遊びに来た男が皆その前へ立つて見ちや「贗物がんぶつぢやないか」
 と輕蔑した。滝田樗陰たちちちよいん君の如きも、上から下までずつと眼をや
 つて、「いけませんな」と喝破かつぱしてしまつた。が、こちらは元來
 怪しげな書画を掘り出して来る事を以て、無名の天才に敬意を払
 ふ所以ゆゑんだと心得てゐるんだから、「僕は果亭くわていだから懸かけて置く
 のぢやない。画ゑの出来が好いいから懸けて置くのだ」と号して、更
 に辟易へきえきしなかつた。けれどもこの山水を贗物がんぶつだと称する諸君
 子んしは、悉ことごとくこれを自分の負惜まけしみだと盲断した。のみならず彼等
 の或者は「兎とに角無名の天才は安やす上あがりで好いいよ」などと云つて、

いやににやにや笑ひさへした。ここに至る以上自分と雖も、聊か

三円の果亭の為に辯ずる所なきを得ない。

そもそかんていか

仰鑑定家なるものはややもすると虫眼鏡などをふり廻して、

しろうと

おど

我々素人を嚇かしにかかるが、元來彼等は書画の真贋をどの

位まで正確に見分ける事が出来るかと云ふと、彼等も人間である

以上、決して全智全能と云ふ次第ぢやない。何となれば、彼等の

くだ

判断を下すべきものはその書画の真贋である。或は真贋に關す

る範囲内での巧拙である。所がその真贋なり巧拙なりの鑑定は

いつ

かうせつ

何時でも或客觀的標準の定規を当てると云ふ訣に行かう筈がな

ぢやうぎ

い。たとへば落款とか手法とか乃至紙墨などと云ふ物質的

らくくわん

しゆはふ

ないししほく

材料を巧に真似たものになると、その真贋を鑑定するものは殆ど

たくみ

まね

ほん

一種の直覺の外ほかに何もないと云ふ事に歸着してしまふ。が、如何いかに鋭敏な直覺を備へてゐたにした所で、唯過去に於て或書家なり画家なりがその書画を作つたと云ふ事実だけの問題になつたら、鑑定家にしてうらなひしや占うらなひしや者を兼ねない限り、到底たうてい見分けなんぞはつきはしまい。現にこの間あひだなんも何とか云ふ男の作つた贋物がんぶつの書画は、作者自身も真贋を辨べんじなかつたと云つてゐるぢやないか。よし又それ程巧妙をを極めた贋物でないにしても鑑定家に良心のある限り、真とも贋とも決定出来ないちうかんしよく中間色ちうかんしよくの書画が出て来るのは自然である。して見れば鑑定家なるものは、或種類の書画に限り、我々同様更に真贋の判別は出来ないと云つても差さしつかへ支つかへない。そこでひるがへ翻ひるがへつて三円の果亭くわていを見ると、断じて果亭だと言明する事が

出来ないにしても、同様に又断じて果亭でないとも言明する事の出来ないものである。既に然るからはこれを果亭と認めて壁間にぶら下げたのにしろ、毛頭自分の不名誉になる事ぢやない。

況んや自分は唯、無名の天才に敬意を表する心算で——

辯じてここまで来ると、大抵の男は「わかつたよ、もう無名

の天才は沢山だ」と云つた。沢山ならこれで切り上げるが、世

間には自分の如く怪しげな書画を玩んで無名の天才に敬意を払ふ

の士が存外多くはないかと思ふ。それらの士は、俗悪なる新

画に巨万の黄金を抛つて顧みない天下の富豪に比べると、少く

とも趣味の独立してゐる点で尊敬に値する人々である。そこで自

分は聊かそれらの士と共に、真贋の差別に煩はされない清興

の存在を主張したかつたから、ここにわざわざ以上の饒舌ぜうせつを活
字にする事を敢あへてした。所謂いはゆる竹町物たけちやうものを商ふ骨董屋こつとうやが広告
に利用しなければ幸甚かうじんである。

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

鑑定

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>